

2021年度 第2回 高大連携フォーラム 開催報告

オンラインにて「シリーズ2 高大で考える『情報』入試～デジタル社会が求める IT 人材の育成」をテーマに以下のとおり開催した。

日時： 2022年3月9日（水）18：00～20：00

会場： オンライン（ZOOM）にて

申込者数： 123名

参加者数： 66名

会員大学	14名
会員大学外	19名
高等学校	23名
その他	10名
合計	66名

プログラム：

18:00	開会挨拶 大澤 茂男 氏（大阪青山大学 副学長、高大連携部会 部会長）
18:05	講演1 中野 淳 氏（日経 BP コンシューマーメディアユニット長補佐）
18:45	講演2 中野 由章 氏（工学院大学附属中学校・高等学校 校長）
19:25	パネルディスカッション
19:55	閉会挨拶 秋田 成司 氏（大阪府立大学 副学長、高大連携部会推進委員会 委員長）

アンケート：別紙のとおり

講演概要：

<講演1> 中野 淳 氏（日経 BP コンシューマーメディアユニット長補佐）

「情報」入試スタート——これからどうなるのか、どう備えるのか

2003年度「情報」科目新設から大学入学共通テストに課されるまでの流れについて説明があり、政府のAI戦略における「数理・データサイエンス・AI」のモデルカリキュラムが紹介された。また、令和7年度実施の大学入学共通テストの概要・スケジュールが示され、「情報」科目試験の作問について、参考資料が提示された。最後に、日経BPが取り組んでいる「情報」科目に関連した事業についての紹介があった。

モデルカリキュラムの学修目標

今後のデジタル社会において、数理・データサイエンス・AIを日常の生活、仕事等の場で使いこなすことができる**基礎的素養**を主体的に身に付けること。そして、学修した数理・データサイエンス・AIに関する知識・技能をもとに、これらを扱う際には、**人間中心の適切な判断**ができ、**不安なく自らの意志でAI等の恩恵を享受し、これらを説明し、活用**できるようになること。

http://www.mi.u-tokyo.ac.jp/consortium/model_literacy.html

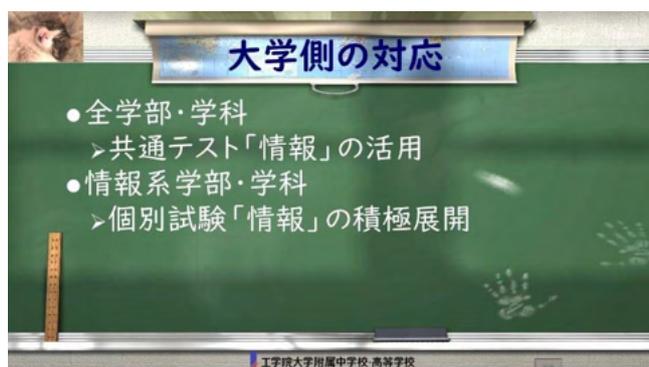


中野 淳 氏

<講演2> 中野 由章 氏 (工学院大学附属中学校・高等学校 校長)

大学入学共通テストと「情報Ⅰ」に対する大学の対応

これまでの小中高における情報教育と新学習指導要領における「情報」科目について、概要が説明され、工学院大学附属高等学校での新教科「情報Ⅰ、Ⅱ」の履修年次が紹介された。また、大学入学共通テストに「情報」科目が課されるまでに至った経緯が示され、大学入学共通テストの試作問題、サンプル問題について具体的な解説があった。東京都での入試における「情報」科目の取り扱いについて、今後の方向性を予測できるエピソードが紹介され、最後に、「情報」の学びが総合的な探究力に繋がること、国公立にかかわらず、大学入試において、「情報」科目が選択できなければ時流に乗り遅れるとの話があった。



中野 由章 氏

パネルディスカッションの様子

ファシリテーター 兼宗 進 氏



主な質疑応答

<Q>わかりやすいという観点からか、ともすれば「プログラミング」に焦点が当てられ、横糸的な価値が軽視されている気がする。世の中（特に他教科の教員）の認知はどうか？

<中野 淳氏>現状、他教科の先生方が意欲的に「情報」科目と連携しようという様子は見受けられないが、新学習指導要領の下、新しい作問形式では総合力が問われており、学校全体で他教科との連携を深め対応していくことが理想であると思う。

<中野 由章氏>確かに「プログラミング」は話題になりやすいが、他の学びもあるなか、多くの授業時間数を割くことはできない。新学習指導要領では、他教科においても論理的な学びが重視されており、科目間連携が上手くいかななくても、他教科へ援用できるような

論理的な思考力を「情報」科目で身につけさせることが大事だと考える。

<Q>「情報」では、倫理や道徳的な内容との兼ね合いが非常に重要だと考える。小学校で取り扱うにはかなり難しい気がするが、小学校の先生方はどのように考えているのか。

<中野 淳氏>昨今、児童が SNS 等に触れる機会も多く、情報リテラシーの必要性等を小学校教員も意識されており、保護者の関心も高いと考えるので、扱いやすい内容かと思う。身近な問題に落とし込んで学びを深めることが可能ではないか。

<中野 由章氏>小学校では、情報活用の実践を学ぶことが中心になる。実際の学習活動をおし学んでいくなかで培われると考える。

◆2021年度 第2回 高大連携フォーラム 参加者アンケート結果◆

参加者66名 回答件数48件 回答率72.7%

<p>1. 回答者について</p> <table border="1"> <tr><th>所属</th><th>人数</th><th>割合</th></tr> <tr><td>大学教員</td><td>16</td><td>33.3%</td></tr> <tr><td>高等学校教員</td><td>14</td><td>29.2%</td></tr> <tr><td>大学職員</td><td>9</td><td>18.8%</td></tr> <tr><td>高等学校職員</td><td>2</td><td>4.2%</td></tr> <tr><td>民間企業関係者(教育関連)</td><td>4</td><td>8.3%</td></tr> <tr><td>その他</td><td>3</td><td>6.3%</td></tr> </table> <p>その他: 大学関係団体1、支援学校教員(高等部)1、教職大学院大学院生1</p>	所属	人数	割合	大学教員	16	33.3%	高等学校教員	14	29.2%	大学職員	9	18.8%	高等学校職員	2	4.2%	民間企業関係者(教育関連)	4	8.3%	その他	3	6.3%	<p>2. 本フォーラムを知ったきっかけ(複数回答可)</p> <table border="1"> <tr><th>きっかけ</th><th>人数</th></tr> <tr><td>asagao-ML</td><td>18</td></tr> <tr><td>所属先からの案内</td><td>11</td></tr> <tr><td>チラシ</td><td>9</td></tr> <tr><td>大学コンソーシアム大阪からの案内</td><td>9</td></tr> <tr><td>大学コンソーシアム大阪HP(SNS含む)</td><td>4</td></tr> <tr><td>Tulipメーリングリスト</td><td>2</td></tr> <tr><td>その他</td><td>1</td></tr> </table> <p>その他: 知人より</p>	きっかけ	人数	asagao-ML	18	所属先からの案内	11	チラシ	9	大学コンソーシアム大阪からの案内	9	大学コンソーシアム大阪HP(SNS含む)	4	Tulipメーリングリスト	2	その他	1
所属	人数	割合																																				
大学教員	16	33.3%																																				
高等学校教員	14	29.2%																																				
大学職員	9	18.8%																																				
高等学校職員	2	4.2%																																				
民間企業関係者(教育関連)	4	8.3%																																				
その他	3	6.3%																																				
きっかけ	人数																																					
asagao-ML	18																																					
所属先からの案内	11																																					
チラシ	9																																					
大学コンソーシアム大阪からの案内	9																																					
大学コンソーシアム大阪HP(SNS含む)	4																																					
Tulipメーリングリスト	2																																					
その他	1																																					
<p>3. 本フォーラムに参加しようと思った理由(複数回答可)</p> <table border="1"> <tr><th>理由</th><th>人数</th></tr> <tr><td>テーマに関心があったから</td><td>48</td></tr> <tr><td>最新情報を知りたかったら</td><td>22</td></tr> <tr><td>登壇者または講演内容に関心があったから</td><td>17</td></tr> <tr><td>オンラインでの開催だったから</td><td>10</td></tr> <tr><td>上司からの指示または業務上の必要性があったから</td><td>5</td></tr> </table>	理由	人数	テーマに関心があったから	48	最新情報を知りたかったら	22	登壇者または講演内容に関心があったから	17	オンラインでの開催だったから	10	上司からの指示または業務上の必要性があったから	5	<p>4. 講演1について</p> <table border="1"> <tr><th>評価</th><th>人数</th><th>割合</th></tr> <tr><td>とても参考になった</td><td>40</td><td>83.3%</td></tr> <tr><td>参考になった</td><td>8</td><td>16.7%</td></tr> </table>	評価	人数	割合	とても参考になった	40	83.3%	参考になった	8	16.7%																
理由	人数																																					
テーマに関心があったから	48																																					
最新情報を知りたかったら	22																																					
登壇者または講演内容に関心があったから	17																																					
オンラインでの開催だったから	10																																					
上司からの指示または業務上の必要性があったから	5																																					
評価	人数	割合																																				
とても参考になった	40	83.3%																																				
参考になった	8	16.7%																																				
<p>5. 講演2について</p> <table border="1"> <tr><th>評価</th><th>人数</th><th>割合</th></tr> <tr><td>とても参考になった</td><td>40</td><td>83.3%</td></tr> <tr><td>参考になった</td><td>8</td><td>16.7%</td></tr> </table>	評価	人数	割合	とても参考になった	40	83.3%	参考になった	8	16.7%	<p>6. 本フォーラム全体について</p> <table border="1"> <tr><th>評価</th><th>人数</th><th>割合</th></tr> <tr><td>とても参考になった</td><td>40</td><td>83.3%</td></tr> <tr><td>参考になった</td><td>8</td><td>16.7%</td></tr> </table>	評価	人数	割合	とても参考になった	40	83.3%	参考になった	8	16.7%																			
評価	人数	割合																																				
とても参考になった	40	83.3%																																				
参考になった	8	16.7%																																				
評価	人数	割合																																				
とても参考になった	40	83.3%																																				
参考になった	8	16.7%																																				
<p>7. 本フォーラムの満足度について</p> <table border="1"> <tr><th>満足度</th><th>人数</th><th>割合</th></tr> <tr><td>満足</td><td>33</td><td>68.8%</td></tr> <tr><td>概ね満足</td><td>15</td><td>31.3%</td></tr> </table>	満足度	人数	割合	満足	33	68.8%	概ね満足	15	31.3%																													
満足度	人数	割合																																				
満足	33	68.8%																																				
概ね満足	15	31.3%																																				

<p>8. 上記と回答した理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新しい「情報」の内容について理解でき、大変参考になりました。 ・最新の状況を知ることができました。 ・これまでも同様の内容は何度もテーマに挙がっていますが、常に新しい情報が更新されているため、それを知る貴重な機会になっていると思います。 ・これまでの経過や課題などをご説明いただいた。 ・「情報」の状況理解が進みました。 ・情報教育、特にデータ分析力は学力問わず必要であると考えます。 ・大変分かりやすい内容でした。 ・様々な貴重な情報を短時間で得ることができたから。 ・教科「情報」については、高校現場でも指導に大きな課題を持たれています。その中でこのような会で情報を知れたことは大変有意義でした。 ・興味ある情報をたくさん聞くことができました。 ・自分の知見の狭さを再認識させていただきました。 ・「情報」科目導入から大学入試科目になるまでの歴史があやふやだったためよく分かった。また、模擬問題等が提供されていることも知らなかったため。 ・共通テストに伴う、「情報Ⅰ」の実施学年について、貴重な情報が得られました。 ・現在は商業高校で商業科目を担当していますが、いずれ大阪府の高校再編で情報の授業を担当（免許を保有、約8年他校で「社会と情報」を担当）することになると考えており、入試の関する情報が聞けて良かったと思いました。 ・今回は高等学校の話題が中心ではありましたが、小中学校の学習内容の変化にも触れていただいたお陰で、初等中等教育での学習について垣間見ることができました。また、今後自身の所属大学におきまして、一般情報教育、データサイエンス系の教養科目の再編を考える良いインセンティブになりました。 ・とても興味深いテーマで、登壇者のお話も分かりやすく面白かった。 ・教科「情報」の考え方、捉え方が変わりました。 ・「情報」の入試に関する最新の情報や知見を得ることができたため。 ・プログラミング教育ばかりに目が行きがちだが、今日改めて情報教育を見直すことができた。 ・来年度の指導へのヒントが多くあった。 ・現時点での情報を入手できたため概ね満足であった。 ・「情報Ⅰ、Ⅱ」に関する中身をコンパクトにおまとめいただき、大変有意義に情報収集できました。
<p>9. 意見および感想(講演1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科「情報」の歴史について、特によく理解できました。 ・問題集、楽しみにしています。 ・いろいろ役に立つ情報をありがとうございました。 ・学校全体で取り組むべき案件だということを確認しました。 ・何度かご登壇されているのを拝聴しています。教科書についての情報、また今後教材や問題集を出版検討とのこと参考になりました。 ・出版を手掛けてこられ、数多くの現場取材してこられた視点で、幅の広い情報をいただきました。 ・今回は業務が終わらず、途中からの参加でしたが、中野様の講演でいつも勉強させていただいています。 ・「情報」といえばプログラミングというわけではなく、広い視野に立って俯瞰・説明いただき分かりやすかったです。 ・「情報」という科目で何が求められており、どのような入試になっていくのかをしっかりと理解することができました。今後、AI関連も勉強していかないといけないと少し焦りも覚えました。まずは入試に向けての環境整備に尽力していこうと思います。 ・今に至る経緯を俯瞰することができました。 ・丁寧で分かりやすい説明でした。 ・「情報」入試の概要と歴史がとてもよく分かりました。
<p>10. 意見および感想(講演2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テンポいいお話ありがとうございました。 ・共通テストの「情報」の出題傾向について特に学ぶことができました。 ・都議会の質問までフォローされていることに驚きました。小池知事の回答を知ることができて、とても参考になりました。 ・1年次、2年次、3年次のカリキュラムの組み方の考えは非常に参考になりました。また、試験対策で解答項目を答えられるようにするというのは多くの学校で非常に参考になると思います。 ・いろいろ役に立つ情報をありがとうございました。 ・自分の認識の不十分な点を明確にさせていただきました。 ・中・高での取り組みについてよく分かりました。 ・IPSJの情報教育関連の諸委員会、高等学校の教育現場でのご経験をふまえた情報をいただきました。大学で一般情報教育を担当する立場から申しますと、大学の授業を「ガラガラポン」する覚悟を決める時が来たと感じました。 ・中野先生のお話は、面白く内容も濃いので、端折られたところも、お伺いしたかったです。 ・教科「情報」の立ち位置が共通テストの側面から解説していただいたおかげで大変分かりやすかったです。 ・「情報」の入試でどういったことが問われるかなど、具体的な例も交えて話してくださったので、本当によく理解できました。自校の情報教育の質の向上に努めていきたいと思っています。 ・展開が早くついていくのが大変でしたが理解できました。 ・大変魅力的なご講演で、中身のみならず出題意図やその意味までよく理解することができました。
<p>11. 意見および感想(フォーラム全体)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料を提供いただけだったので、後ほどふりかえりもでき、また課内で情報共有でき助かります。 ・時間、講師、司会などすべてベストだったと思います。 ・中身の濃い勉強の機会をいただきました。 ・受験産業の方々はどう捉えていらっしゃるのか？教材・問題集・模擬試験… ・興味ある情報をたくさん、ありがとうございました。 ・すばらしいフォーラムでした。京都市教育委員会にも頑張っしてほしいです。 ・前回の内容がわかる資料、アーカイブ等あれば伺いたいです。 ・内容的には大変すばらしかったです。今知りたい情報をいただきました。 ・現在、支援学校勤務で、情報科の教員も私しかおらず、浦島太郎状態になってしまいそうですが、このような機会をいただきとても有り難く思います。 ・今回のフォーラムでは、共通テストに寄せたテーマでお話しいただき入試としての考え方が理解できました。 ・今の「情報」科目に関する入試動向を全く追えていなかった自分にとっては、本当に有り難い為になる講演会でした。 ・開催時刻を少し早めてもらえるとう助かります。 ・とても有意義でした。大学教員にとって必要な情報ながらも、自分ですべてを調べるのは困難なので、このような機会のご提供はとても有り難いです。
<p>12. 次回のフォーラムで取り上げてほしいテーマ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・探究活動へのアプローチに関する内容 ・高校の探究活動と大学教育の接続について ・大学でのデータサイエンス教育の取り組みや今後の構想、また大学間での協力関係について ・大学側が考える「情報Ⅰ」の入試の在り方について ・受験産業の方々はどう捉えていらっしゃるのか？教材・問題集・模擬試験… ・情報科の教員です。情報科のテーマであれば嬉しく思います。 ・「情報」以外にも新学習指導要領で変わる高大接続に関するテーマを取り上げて欲しい。 ・大学入試センターの試作問題が公表された後のフォーラムがあれば参加したいと思っています。